

質問第7号

石合祐太 議員

質 問 書

1 新型コロナウイルス感染症に対する備えと生活再建についての質問

(1) 生活困窮者や失業者への支援について

ア 失業者への就労対策として、市有施設で失業者を受入できるかを調査してはどうか。

また、民間事業者に対しても雇用を呼び掛けてはどうか。

イ 生活困窮者の実態把握に努め、就労に向けたスキルアップ訓練を行うなどの支援を行ってはどうか。

ウ 失業者への就労支援や生活資金を確保するための取り組みはどうか。また、外国籍市民や留学生への支援はどうか。

エ 国は、「新型コロナウイルス感染防止に関連した生活保護業務及び生活困窮者自立支援制度における留意点について」の事務連絡の中で、「保護の申請権が侵害されないことはもとより、侵害していると疑われるような行為も厳に慎むべきである」としているが、生活保護を必要とする人がためらわずに相談や申請をできる環境づくりとしてどのような取り組みを行うか。また、新型コロナウイルスの感染が拡大してから、相談や申請件数に変化はあるか。生活保護の申請をしてから決定までの期間はどうか。

(2) 公共交通事業者支援について

ア 新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を踏まえた地域の公共交通政策をどう考えるか。また、エッセンシャルワーカーである交通事業者に対して、支援を強化すべきと考えるが、見解はどうか。

イ バス事業は、路線バスで生じた赤字を観光や高速バスの黒字で補てんしている状況のため、新型コロナウイルス感染症の影響により観光や高速バスの収益が減少することは、バス事業者にとって大きな痛手である。地域の足である市内の路線バスを存続するためには、市独自の支援策や関係団体と連携した乗車誘導策が必要であると考えられるが、見解はどうか。また、小中学校の修学旅行等のバス利用による需要の回復は見込めるか。

ウ 別所線千曲川橋梁の災害復旧事業を行うに当たり、10年間の長期運行計画を策定したが、新型コロナウイルス感染症の影響により、想定していた乗客数が見込めない状況などがある。このため、計画を策定した時に前提条件としていたものが崩れているが、

今後の計画をどう設定していくか。

(3) 集中豪雨時等に対する新型コロナウイルス感染症対策について

ア 三密を警戒して、避難所への避難をためらうことがないようにするためには、避難所が感染症対策を講じていることとあわせて、災害発生の際は、適切に避難するよう啓発することが重要であるが、どのように行うか。

イ 災害発生時に従事する災害ボランティアの方に対する感染症対策を徹底する考えはあるか。

ウ 浸水想定区域等の災害が発生しやすい区域に介護施設や障がい者施設があることから、災害発生時に避難所となる施設の状況を調査し、避難体制を改めて確立する必要があると考えるが、見解はどうか。